

令和7年度本中山地区社会福祉協議会事業日程

	ミニデイサービス	出張ミニデイ	いきいきサロン	子育てサロン	男性のクッキング	手作りの会	たんぽぽサロン	地域福祉まつり	ボランティア育成事業	フェスティバル(音楽会)
開催時間	10:30~14:30		13:00~15:00	10:30~12:00	10:00~13:00	12:30~15:00	10:00~11:30			
4月	24(木)		10(木)	15(火)		16(水)	18(金)			
5月	22(木)		12(月)	20(火)	28(水)	21(水)	16(金)			
6月	26(木)		10(火)	17(火)		18(水)	20(金)		5(木)	
7月	24(木)	小栗原住宅	10(木)	10(木)	12(土)	16(水)	18(金)			5(土)
8月	28(木)	白寿会	12(火)	5(火)			22(金)			
9月	25(木)	西船橋ハイム	10(水)	16(火)	9(火)	17(水)	19(金)			
10月	23(木)		10(金)	21(火)		15(水)	17(金)	25(土)		
11月	27(木)	高砂会	10(月)	18(火)	20(木)	19(水)	21(金)		福祉体験予定	
12月	18(木)	随時開催予定	10(水)	2(火) 16(火)		17(水)	19(金)			
1月	22(木)		13(火)	20(火)	30(金)	21(水)	16(金)			
2月	26(木)		10(火)	3(火)		18(水)	20(金)		17(火)	
3月	19(木)		10(火)	17(火)		18(水)	13(金)			

※日程や内容が変更・中止になる場合がありますので、
西部公民館入口にあるチラシや地区社協のHPでご確認ください。
〈開催場所は西部公民館他〉

安心登録カードに登録を



2月28日現在の登録者数
499名

65歳以上でひとり暮らしの方、高齢者だけのご家庭や障がいがある方などを対象に緊急連絡先や持病などを登録していただくものです。

新規登録や住所などの登録内容に変更が生じた場合は、地区社協までご連絡ください。

車いすの貸し出し



日常生活や通院等で必要な方はご利用ください

料金は1日70円

貸出・返却日は、事務所開所日になります。まずは、地区社協にお電話ください。

賛助会費のご協力ありがとうございます

地区社協運営費は、各町会・自治会の皆さまから納入いただいた会費が財源となります。地区社協の活動は、皆さまの真心と会費に支えられています。



=お申し込み・お問い合わせ先=

本中山地区社会福祉協議会

〒273-0035 船橋市本中山 1-6-6(西部公民館2階)

TEL. 047-336-7011

月～金 10時～12時 / 13時～15時 (公民館休館日を除く)

motonakayama-syakyo@bz01.plala.or.jp



本中山地区社協HPはこちらから

ボランティア募集中!

興味のある方は、事務局までお問い合わせください!

本中山福祉だより

<発行元>

本中山地区社会福祉協議会
責任者：高久千也子



ひとつひとつの積み重ねが大きな一歩に
～住みよいまちづくり進んでいます～



本中山地区社会福祉協議会
会長 高久千也子

皆様には日頃より本中山地区社会福祉協議会の事業活動に、ご理解とご協力を頂き誠にありがたく厚くお礼申し上げます。

今年度は、昨年1月の能登半島地震に続いて石川の大水害、猛暑、極寒と近年まれなる豪雪、さらには大規模森林火災と自然のおそろしさを痛感させられました。

ここ本中山は、幸いなことに大きな災害を受けることはなかったのですが、もしものために日頃より防災に関心をもって、備蓄や避難経路の確認を行い、まずは自分を家族を守りましょう。

表題にもありますように、ひとつひとつの積み重ねが大きな一歩に「共に助け合う本中山」の実現を目指して努力してまいりますので、皆様の更なるご協力をお願い致します。

盲導犬ユーザーのお話し



中山在支体操教室



やきそば販売

第30回 地域福祉まつり



葵太鼓



ビンゴゲーム



地域福祉まつり

小栗原小学校合奏部



船橋市社会福祉協議会
若生会長ご挨拶

令和6年10月26日(土)西部公民館にて地域福祉まつりを開催し、天候にも恵まれ、多くの方々にご来場いただきました。ワークアイ船橋、地区のボランティア、葛飾中学校の生徒ボランティアのみなさまに、さまざまな面でご協力いただき、大盛況で終えることができました。

福祉体験の感想 ☆小栗原小学校4年生の皆さん☆

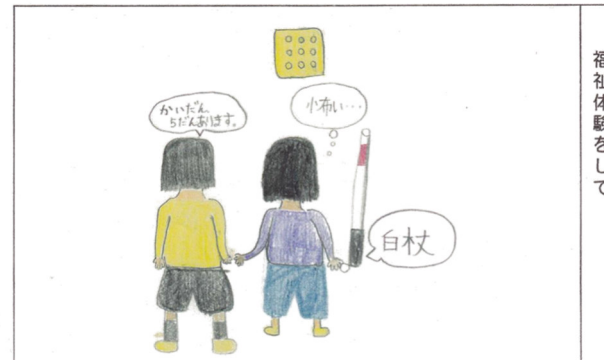
令和6年11月12日(火)小栗原小学校4年生の皆さんが、保護者の方や地区社会福祉協議会のボランティアの協力のもと、車いすの正しい使い方や段差のある道での動かし方、また、高齢者疑似体験セットを使い目や身体の不自由な方の気持ちや日常生活を理解するための体験を行いました。



福祉体験をして

小栗原小学校 四年

私は福祉体験をしました。私は三つの体験の中でよくいんしゅうにのこったのが「アイマスク体験」です。アイマスク体験では、アイマスクで目をかくし、白杖を持ったり階段の上り下りを体験します。この体験をして私は、目の見えない人はとてもすごいのと心に残りました。毎日目が見えず、とてもこわいのにも関わらず、頑張って歩いているのはすごいのと心に残りました。この体験をもとに一人一人の助け合い、大事にしように思います。



福祉体験をして

小栗原小学校 四年


私は、今日初めて福祉体験をしました。アイマスクをして何も見えないところを歩くのは、とても怖かったです。目が不自由な人も階段の上り下り、すく歩いのではないかと思いました。また、白杖だけでどこまで入って歩けるのかと不思議です。目の不自由な人のために私たちが出来ることは、階段などで困っていたら手助けをする事です。福祉体験をしたことのないみなさんでもぜひ、役に立てる事があたらしくそのために出来ることを考えてみてください。協力していこうとみんなのためにより良くなると思います。四年生で「点字を習うので今日の体験をいかにして習いたいと思います。」



福祉体験をして

小栗原小学校 四年

わたしが高視覚者疑似体験をして一番心に残ったのは、車いすに乗ったことです。なぜかというとき、乗ったときに車いすをおすすめを掛けてくれてうれしかったからです。逆に、車いすをおすすめするとき、注意しないといけないことが多かったです。たとえば、たんざに車いすを乗せるときは、声をかけてから、下りるときも声をかけてからという注意が必要でした。他にもシニア体験、視覚はつばい体験をやりました。シニア体験では、思ったよりもせなかをのせなくてびっくりしました。高視覚者の大変さがわかりました。



福祉体験をして

小栗原小学校 四年

わたしは、福祉の体験でたくさんのお話を学びました。そしてその中で一番、人しづかに歩いたのは、白杖をのぼったり、点字ブロックの上を歩いたりするところでも、不慣れた見えない人かたさんについて、下校中もよくあいまう。なので、その人たちと同じような立地場所になって考えることができたのは、とても良かったです。

～生活支援コーディネーターだより第6号～

○生活支援コーディネーターの役割○ 『住民と地域との“つながり”を創る橋渡し役』

生活支援
コーディネーター




村尾 節生

少子高齢化が進む日本では、2025年に団塊の世代が75歳以上になります。その後も1950年代に生まれた人々が次々と後期高齢者となり、医療費や介護費などの社会保障費が増えることが予想されています。そこで国は、介護が必要になっても、高齢者が住み慣れた地域で暮らし続けられるように地域の特性に応じて「医療・介護・予防・住まい・生活支援の5つを柱とした地域の包括的な支援・サービス体制⇒地域包括ケアシステム」の構築を進めています。この新しい仕組みを推進するために「生活支援コーディネーター」が導入されました。「生活支援コーディネーター」は、地域のニーズを掘り起こし、そのニーズに合った福祉サービスを発掘し、適切な事業者や関係機関に繋げ、コーディネートする役割を担っています。生活上で何かお困り事が有りましたら『[本中山地区社会福祉協議会](#)』へご相談ください。自前の「本中山たすけあいの会」で対応できるものは会員が対応します。対応出来ないものは関係機関（船橋市、西部包括支援センター、中山在宅介護支援センター、民生委員、連合自治会他）にお繋ぎ致します。

～VR認知症体験会～

令和6年11月1日(金)地域福祉フォーラム設置支援事業として、地区社協のボランティアを対象に、VRによる認知症体験会を行いました。一昨年より座学で学んでいた認知症について、VRを通じて認知症の方の見え方や感じ方を実際に体験することで、より理解を深めることができました。

福祉体験をして

小栗原小学校 四年

私は今まで、目が見えない人ももう少しうまく歩けると思っていました。なぜなら、目が見えない人たちが普通の人の様に歩いていたからです。ですが、アイマスク体験をして、目が見えない人はこんなにも真暗で怖い中、白杖だけで歩いていくというところがわかりました。特に階段を下りるときが一番こわかったです。いつ落ちるかかわらないし、つたかこわいと思いました。これから、目が見えない人を見つけ、困っていたら案内して助けたいなと思いました。

ボランティア育成事業

令和7年2月5日(水)、富田悦子先生をお招きして「いちごのショートケーキ作り」の講習会を開催しました。



ボランティアの皆様で美味しくいただきました。

皆様和気あいあいとグループ毎に楽しく作業をして、ボランティア同志の交流を深めることができました。

